

介助犬の仕事学んだ

西大寺小児童

スマホ持ってくる実演も

西大寺小（岡山市東区西大寺上）で18日、手や足に障害のある人の日常生活を手助けす



る介助犬について学ぶ切さを学んだ。会があった。児童は介助犬の果たす役割や大ブの1〜4年生約70人

介助犬の仕事を学ぶ西大寺小の児童

が参加した。介助犬総合訓練センター「シニアの丘」（愛知県からPR犬「コア」と職員2人が訪れた。コシアは、スマートフォンを口にくわえて持ってきたり、車椅子に乗った人の靴下を脱がせたりといった介助動作を披露。児童は大きな拍手を送っていた。

職員は、介助犬は全国に62頭おり、909頭いる盲導犬と比べると少ないことを説明。「街で見かけたら静かに見守ってほしい」と呼び掛けた。

4年宮本璃桜さん

（10）は「介助犬がいる

いるので驚いた。スマホをちゃんと

持ってきたのすごい

が参加した。介助犬総合訓練センター「シニアの丘」（愛知県からPR犬「コア」と職員2人が訪れた。コシアは、スマートフォンを口にくわえて持ってきたり、車椅子に乗った人の靴下を脱がせたりといった介助動作を披露。児童は大きな拍手を送っていた。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。